



# ボランティアだより

No. 205

発行部数 1,700部

発行日 2021年2月

(編集・発行) 社会福祉法人広島市安芸区社会福祉協議会 ボランティアセンター  
広島市安芸区船越南三丁目2-16 安芸区総合福祉センター3階  
(TEL) 821-2503 (FAX) 821-2504  
(Eメール) aki@shakyohiroshima-city.or.jp



## 新型コロナウイルス感染症対策について

(広島市ホームページより一部抜粋)

日頃より新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

今後も、マスクや手洗い、3密の回避、換気の徹底など感染対策につとめてまいりましょう。(グループの場合は、相互に確認しましょう。)

発熱や咳、倦怠感や味覚・嗅覚障害の症状がある場合には、「ボランティア活動を休む」「会食などには参加しない」「身近な医療機関を受診」するなどしましょう。

### 感染拡大を防ぐために

発熱などの症状があるときは

仕事を休み

会食などの参加を断り

身近な医療機関をすぐに受診してください

### 寒い時期の感染対策

職場や施設では管理者が  
家庭内ではご自身が

換気 と 保湿

を心がけてください

基本の感染対策もしっかりと

- マスクの着用
- 手洗い
- 3密 (密閉、密集、密接) の回避

### 発熱などの症状があったら



当面コロナ禍が続くと思いますが、ボランティア研修会で学んだグループLINEの活用やLINEビデオ通話の活用で、心は密に過ごしたいですね♡♡

ボランティアコーディネーター まつい



安心して活動を行うために、是非ともご加入ください

## ボランティア活動保険

令和3年度の加入手続きをお願いします。

時間が経つのは早いもので、保険の更新時期になりました。

令和2年度にご加入いただいたボランティア活動保険は、3月末日で補償期間が切れますので、手続きをお願いします。

※ボランティア活動保険は、活動中の事故はもちろんのこと、往復路での事故も保険の対象となります。

補償内容については加入と同時にお渡しするパンフレットに記載してありますのでご参照ください。



○ボランティア活動保険料

＜加入プラン＞

基本プラン 350円

天災・地震補償プラン 500円

補償期間：R3.4.1～R4.3.31

# コロナ禍でも工夫したボランティア活動

## 手話サークルあゆみ(昼)

令和2年9月10日(木)、毎週木曜日定例会をされていますが、今回は交流会をされました。

4チームに分かれ、1チーム4人で輪投げ・ダーツ・ポケネットをされました。

ポケネットでは、球が外れたかと思ったら壁に跳ね返り、ゴールに入って一番盛り上がっていました。

感染予防については、1人投げでは、除菌シートでグッズを拭いていました。イスの配置もゆとりをもって配置し、皆透明マスクやフェイスシールドをつけてゲームを楽しんでいました。

いつも、手話の学習を熱心にされていますが、交流会では、和やかな笑い声とリラックスムードで皆さんゲームを楽しんでいました。



▲距離を取って、ゲームを楽しみました。



▲意外に盛り上がったポケネット



▲除菌シートで球を消毒



▲アカハイ・ホヌ 山口代表



## ▲高齢者交流サロンたんぼぼ

歌声フラが終わり、14時頃から利用者みんな、好きなことをされています。取材した日は、帽子の形をした磁石を作っていました。現在はコロナ禍で、もくもく手芸をすることが多いそうです。得意な方が先生になっています。

## アカハイ・ホヌ

高齢者交流サロンたんぼぼは、瀬野学区集会所で第1・3水曜日13時から16時まで開催されています。

たんぼぼは、2年前から隔月1回第1水曜日13時から40分程度、アカハイ・ホヌに歌声フラをお願いされています。

令和2年10月7日は久しぶりの、歌声フラでした。

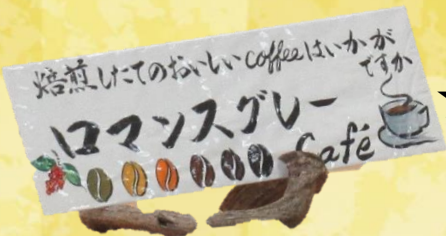
アカハイ・ホヌの山口代表は、マウスシールドを着用し、大きな声が出せないでワイヤレスマイクを使用していました。利用者は、マスクを着用し、席の間隔も十分空けて、感染予防につとめていました。

山口さんの笑顔に、皆にっこりされ、サロンメンバーで作られたハイビスカスの髪飾りを付け、憧れのハワイ航路・島のブルース・それ行けカーブを、動きをおさらいしながら、生き生きと踊っていました。

山口さんは、「利用者の方は、回を重ねるごとに笑顔がほころび、良く笑われるようになった。踊りは、出来ないことのないよう、参加者の状況を見て無理のない踊りを準備しています。」とおっしゃっていました。

たんぼぼの住川代表は、「利用者みんな、歌声フラを楽しみにしている。笑顔になりますね。」とおっしゃっていました。

コロナ禍ではありますが、予防につとめながら、健康第一、笑顔第一で楽しいボランティア活動やサロン活動を続けていただきたいと思います。



# ★珈琲マイスター入門講座 第2弾を開催しました★

—昨年度末の区社協広報誌にて、第2弾の講座案内をしたところ、6名の申し込みがありました。そこで6名の方を対象に、感染予防につとめながら、11月4日(水)から毎週水曜日13:30~15:30の全4回で講座を開催しました。

第1回目は、珈琲の基礎知識と焙煎方法を学びました。

珈琲はお米と同じ生鮮食品なので、ご飯が炊きたてがおいしいのと同じで、珈琲も煎りたてがおいしいということを知り、まずは珈琲を煎ることにチャレンジしました。



▲講座スタート♡  
ロマンスグレーCaféのメンバーもスタッフとして講座に協力して下さいました。



▲ロマンスグレーCaféのメンバー

第2回目は、珈琲の起源や飲用の歴史に触れ、珈琲の淹れ方もマスターしました。昔、珈琲は嗜好品というより、「体を強化する」「眠気を払い、活力を生む」薬として扱われていたそうです。



▲初めての焙煎、頑張りま〜す！



▲焙煎3回目♡慣れてきました☺

第3回目は、珈琲の種類・品種・産地を知り、世界をめぐり、珈琲を飲み比べました。

受講生は、コロンビア・モカ・マンデリンの3種を飲み比べ、違いがまだわかりにくいようでしたが、市販の珈琲のように苦みや酸っぱさがなく、飲みやすいとおっしゃっていました。

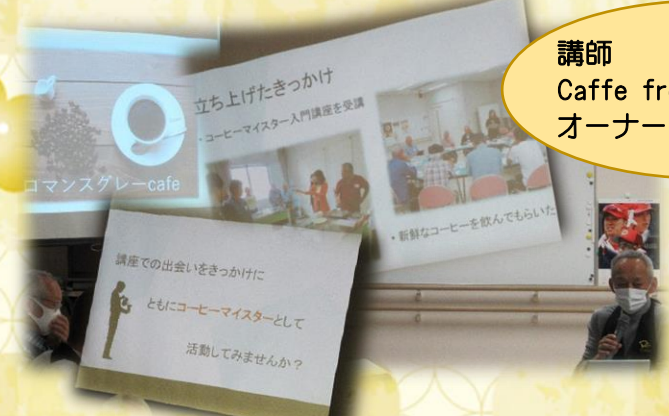
焙煎は、毎回チャレンジされ、どんどん上手になっていました。



▲助成金で、お揃いのエプロンを購入  
※写真撮影の為、マスクを一時的にはずしております。

最終日は、珈琲の健康力を再確認し、焙煎度合いで決まる味の違いを学びました。新鮮な珈琲は病気や老化を撃退し、ダイエットやストレス緩和にも良いそうです。

焙煎は、浅煎りと深煎りに挑戦。浅煎りは酸味があり、深煎りは苦みがあるようですが、違いに気づけるようになっていました。



講師  
Caffe fresco Nagi  
オーナー 佐々木恵利 氏

最後に、第1弾の講座を受講し、現在グループとして活動しているロマンスグレーCaféのメンバーと交流がありました。代表の入領さんから、パワーポイントの資料にそって、立ち上げたきっかけや、メンバー紹介、定例会や活動についての話がありました。

その後、講座を受講して感じたことや、今後についての意向をお聞きしました。

コロナ禍ではありますが、できることを焦らず楽しんで活動できるよう、区社協職員一同応援しています。

ロマンスグレーCafé(ボランティアグループ)の紹介  
高齢者交流サロン等へ、自家焙煎(生の豆を煎る)から豆を挽き、淹れるまですべてをメンバーが行い新鮮な珈琲を提供しています。とてもおいしいです♡

# やさしさ発見プログラムを実施しました

12月4日(金)瀬野小学校4年生を対象にやさしさ発見プログラム事業【聴覚障害者理解 要約筆記】が行われました。

講師は、要約筆記サークルおりづる安芸支部の鈴木英子さんとおりづるのメンバーでした。

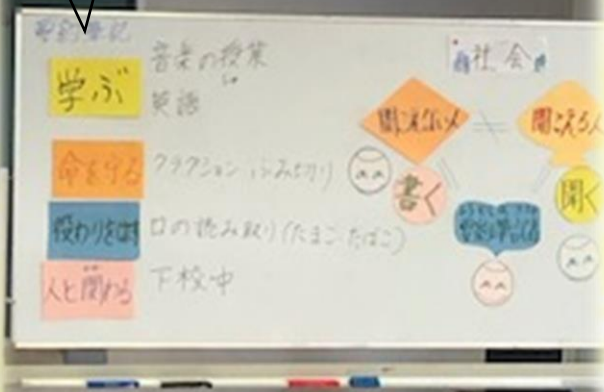
瀬野小学校から久しぶりのやさしさ発見の依頼で、メンバー一同、当日をとっても楽しみにされていました。講師の鈴木さんもとても気合が入っておられました。

やさしさ発見プログラムのご要望は安芸区社会福祉協議会まで。手話や点字等もあります。082-821-2501



▲講師 鈴木英子さん

聞こえない方が困ること



## □【寸劇は】

聞こえる人(お母さん)を鈴木さん、聞こえない人(お姉さん)を丸山さん、2人を繋ぐ人(子ども)を生徒さんでされました。

内容は、お母さんがお料理で手が離せないから、お姉さんに水を持ってくるよう子どもに伝えてもらう設定でした。

生徒さんは、お姉さんの肩をとんとたたき、ジェスチャーで伝えようとしていましたが、書いて伝えることが一番伝わることに気が付かれました。



## □【ノートテイクにチャレンジ♪】

聞こえない方の横で要約筆記をすることがノートテイク。

「せのしょうがっこう」を1分間でどれだけ書けるか挑戦。

続け字になっていないか、速く・読みやすく・正しく書けたかを確認しました。

多くの生徒さんが、良く書けていました。

## □【聴覚障害者へOHCで質問タイム】

チャイムが鳴ると光る機械を利用する。電話は留守電にしておき、家族に教えてもらうかFAXでお願いするなど、疑問が解決しました。

## □【10オフ運動を要約して書いてみよう】

家族で話し合い、携帯スマホのルールを作る。規則正しい生活習慣を作る。相手の為にも夜9時以降メールを送信しない。夜10時以降のスマホの使用をやめる。皆、要約筆記をして、10オフ運動もしっかり頭にインプットされました。

最後に、防災無線を聞いて要約筆記をしてみました。

「こちらは防災広島です。震度4の地震がおきた。火の始末をして、テレビ・ラジオをつけて落ち着いて行動しよう。」の「火の始末」は「コンロ・ストーブの火」と具体的な書き方が良いなど、講師からアドバイスがありました。

